

パラグアイを生産拠点とした 南米地域グローバル・フード・ バリューチェーン構築に向けた 産官学協力の可能性について

2018年3月8日

JICA 農村開発部
課長 伊藤 圭介

- パラグアイについての概要
- パラグアイの投資環境について
- パラグアイ農業ポテンシャルについて
- 南米フードバリューチェーン構想について



大豆、小麦等の農牧産業(肥沃で平らな農地)



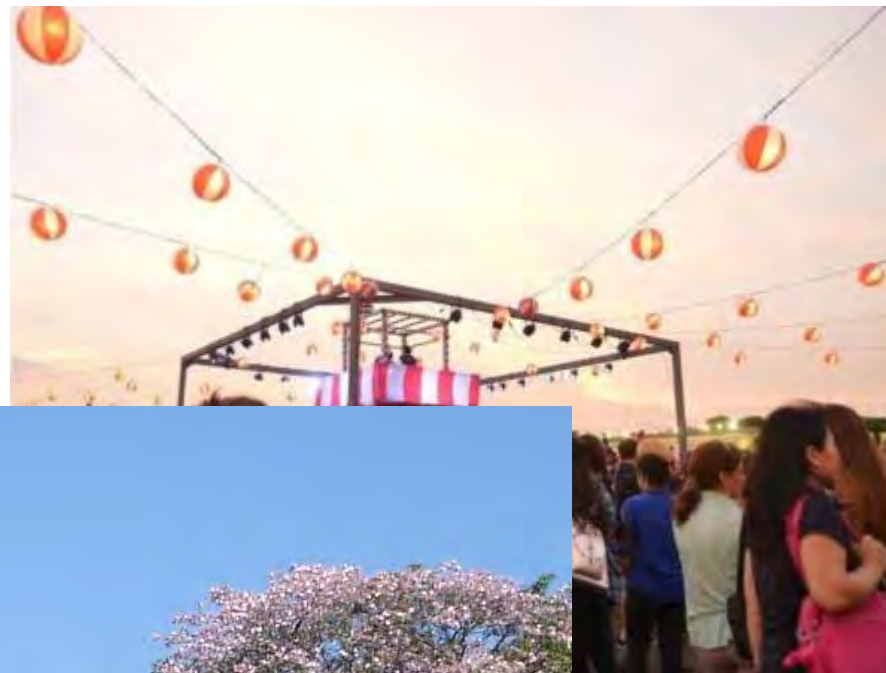
緑豊かな都市



約10,000名の日系人



安価で豊富な水力・電力



パラグアイについての概要（基礎情報）

■人口：約685万人
(2016年 パラグアイ統計局)

・日系人約1万人
・中南米随一の親日国

■面積：約407千km²(日本の1.1倍)

■一人当たりのGNI：4,070ドル
(2016年 世銀)

■主要産業：農牧業

■公用語：スペイン語
 グアラニー語

■宗教：おもにカトリック

■人間開発指数：0.727 High
(110位/188か国。2015年 UNDP)

■GINI係数：0.48(2016年 世銀)



パラグアイの投資環境

- パラグアイの優位性
 - **メルコスールの大市場に近接**
 - 豊富な若年労働者
 - 少ない災害/**良好な治安**
- パラグアイの政策
 - マクロ経済の安定
 - 安価で豊富な電力
 - **インセンティブ**

詳細は
在日本パラグアイ共和国大使館
作成のパンフレット
「チャンスに満ちた国」
を参照ください。

パラグアイの政策

マクロ経済の安定性（主要マクロ経済指標）

出所：IMF(2015年に関しては見込)

	2011	2012	2013	2014	2015
実質GDP成長率(%)	4.3	-1.2	14.0	4.7	3.0
財政収支(GDP比、%)	1.0	-1.7	-1.7	-1.1	-1.7
経常収支(GDP比、%)	0.4	-2.0	1.7	-0.4	-1.8
金融・資本収支(GDP比、%)	1.9	3.7	0.3	5.5	0.8
外貨準備高(グロス、百万ドル)	4984	4994	5871	6891	6329
公的債務残高(GDP比、%)	15.6	13.0	16.2	17.0	20.2
対外債務残高(GDP比、%)	11.1	10.9	11.6	14.5	18.0

パラグアイの政策

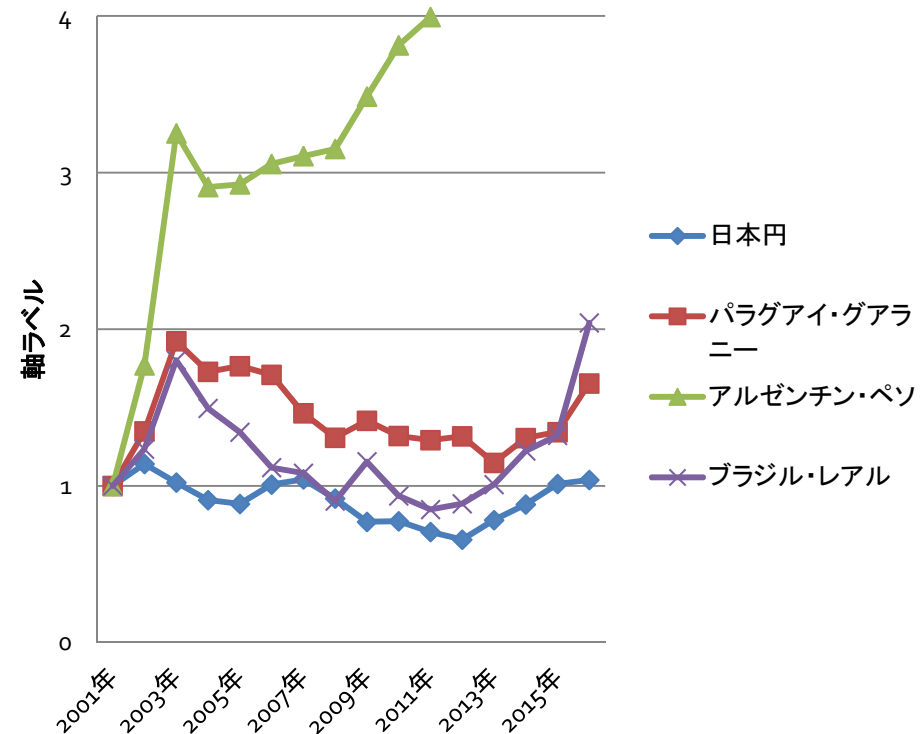
マクロ経済の安定性（為替相場）

USDとの交換レート

年/1月末値	日本円	パラグアイ・ グアラニー	アルゼンチン・ ペソ	ブラジル・ レアル
2001年1月	116,64	3.586,00	0,9998	1,9720
2002年1月	132,95	4.835,00	1,7700	2,4350
2003年1月	119,17	6.900,00	3,2500	3,5530
2004年1月	106,06	6.200,00	2,9075	2,9470
2005年1月	103,21	6.330,00	2,9250	2,6485
2006年1月	117,66	6.130,00	3,0550	2,2015
2007年1月	121,52	5.250,00	3,1050	2,1320
2008年1月	107,21	4.690,00	3,1510	1,7806
2009年1月	89,87	5.080,00	3,4848	2,2760
2010年1月	90,27	4.730,00	3,8125	1,8455
2011年1月	82,31	4.634,00	3,9930	1,6745
2012年1月	76,66	4.722,00	4,3325	1,7475
2013年1月	91,19	4.116,00	4,9750	1,9885
2014年1月	102,84	4.684,00	8,1500	2,4122
2015年1月	118,09	4.819,00	8,6285	2,6074
2016年1月	121,11	5.932,54	13,9095	4,0237

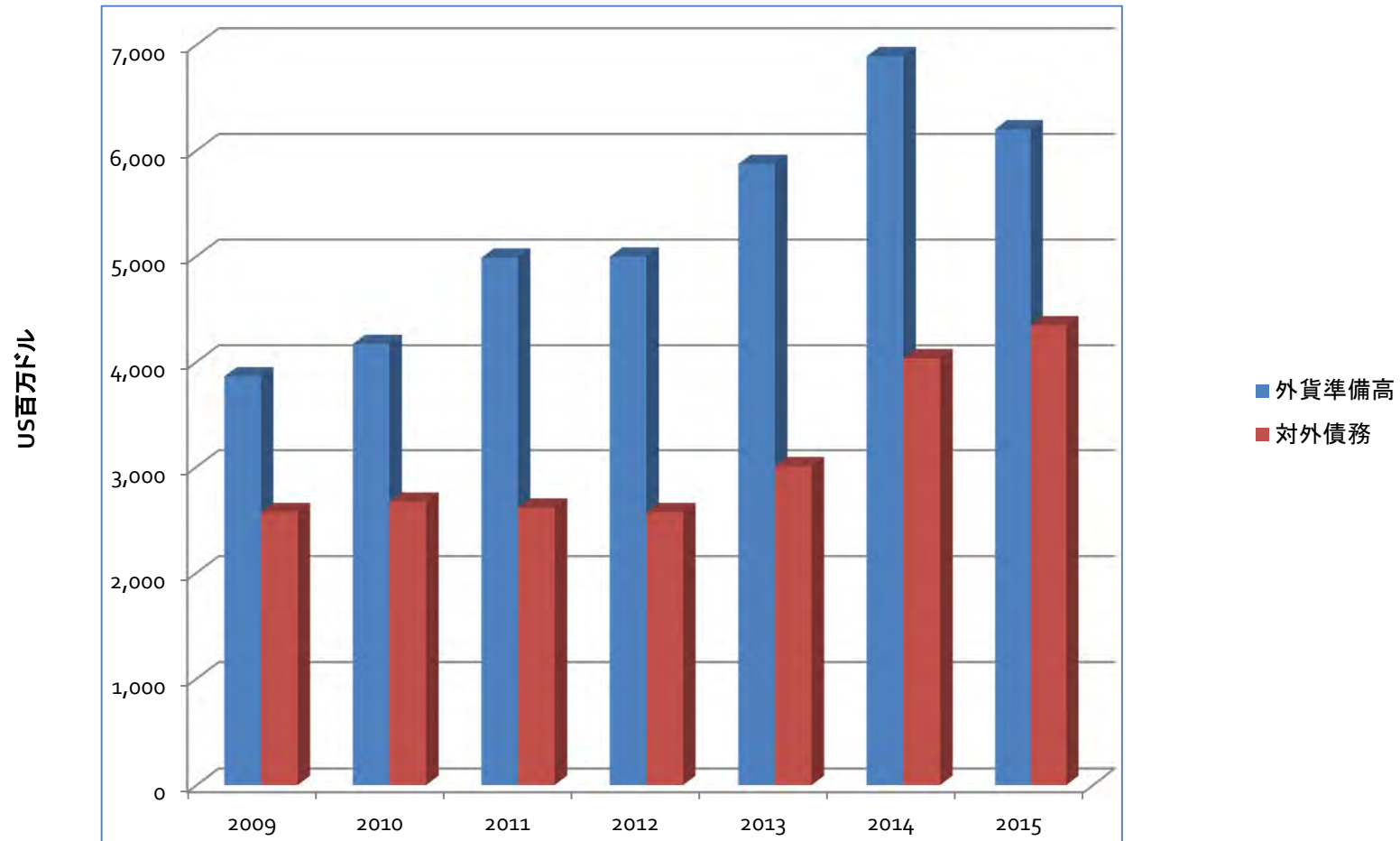
USDとの交換レートの変化

（2001年を1とした場合。）



パラグアイの政策

マクロ経済の安定性（外貨準備・対外債務）



パラグアイの政策

投資のインセンティブ（低い税率、投資法）

税の種類	パラグアイ	アルゼンチン	ウルグアイ	ブラジル
法人税	10%	35%	25%	34%
個人所得税	10%	35%	25%	27.5%
付加価値税	10%	21%	25%	25%

○資本財輸入税（機械・器具） 0%

○資本財に対しての付加価値税 0%

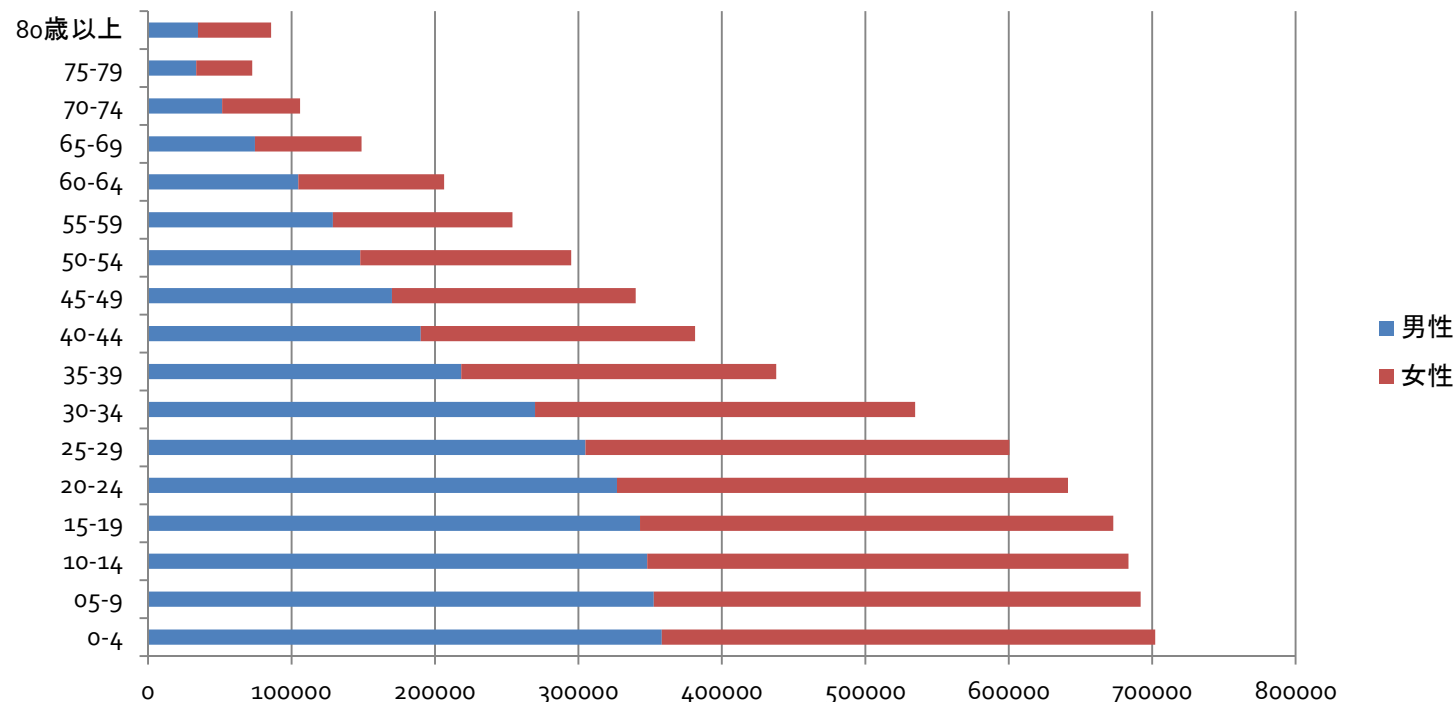
○融資に対する税金・金利・手数料の送金（海外宛）の税（500万ドル以上の投資限定） 0%

○配当金の支払い、利益の海外送金に対しての税金（10年、500万ドル以上の投資限定） 0%

パラグアイの優位性

- 豊富な若年労働者

パラグアイの年齢別人口（全人口：約680万人）全人口の70%が、35歳以下。



パラグアイの優位性

安価で豊富な電力

イタイプダム
(ブラジルと共同管理)



総発電量：1400万kW/時
(70万kW/時×20台)
余剰電力をブラジルに売却

ヤシレタダム
(アルゼンチンと共同管理)

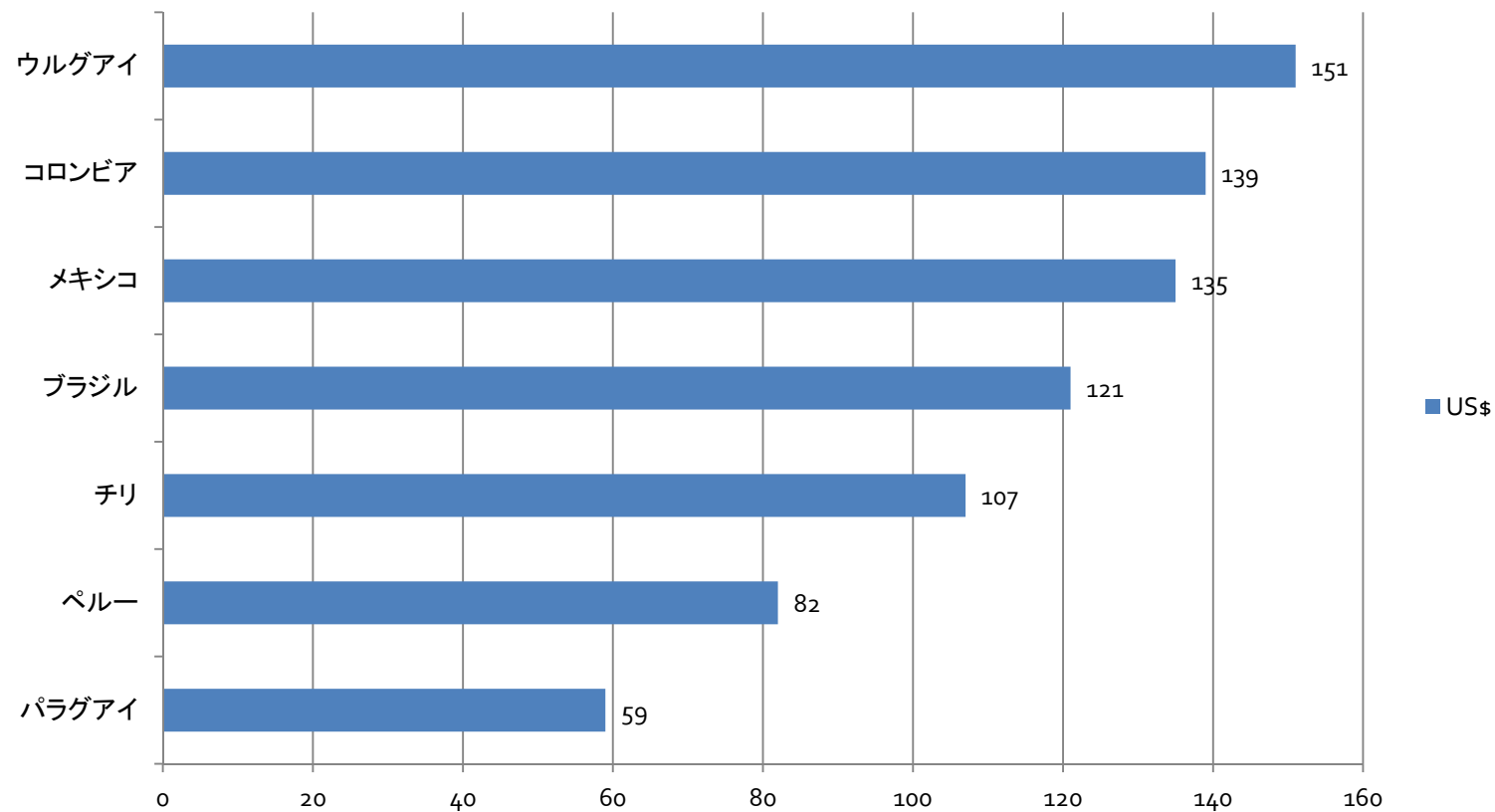


総発電量：320万kW/時
(16万kW/時×20台)
余剰電力をアルゼンチンに売却

パラグアイの優位性

安価で豊富な電力 エネルギー価格・工業部門

50Mkw/月あたり価格

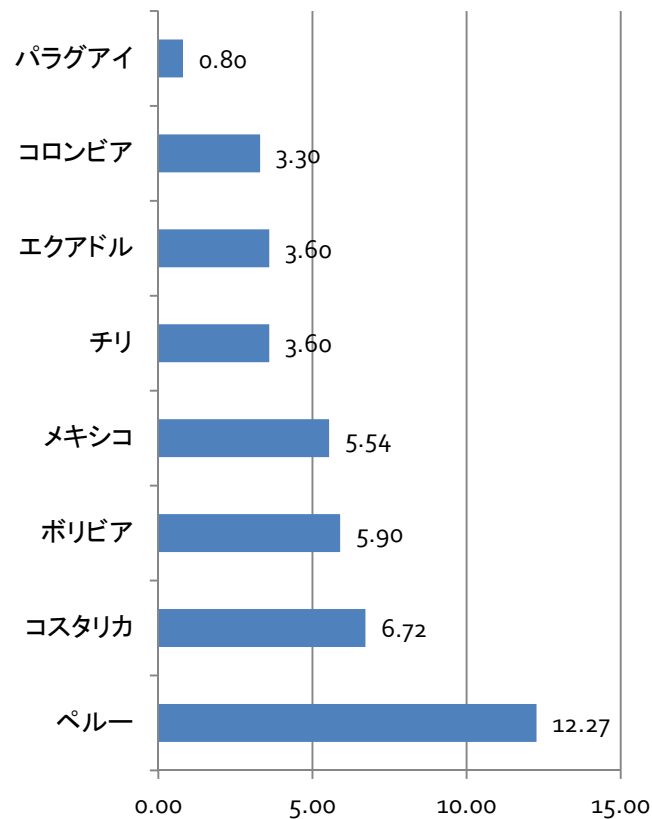


パラグアイの優位性

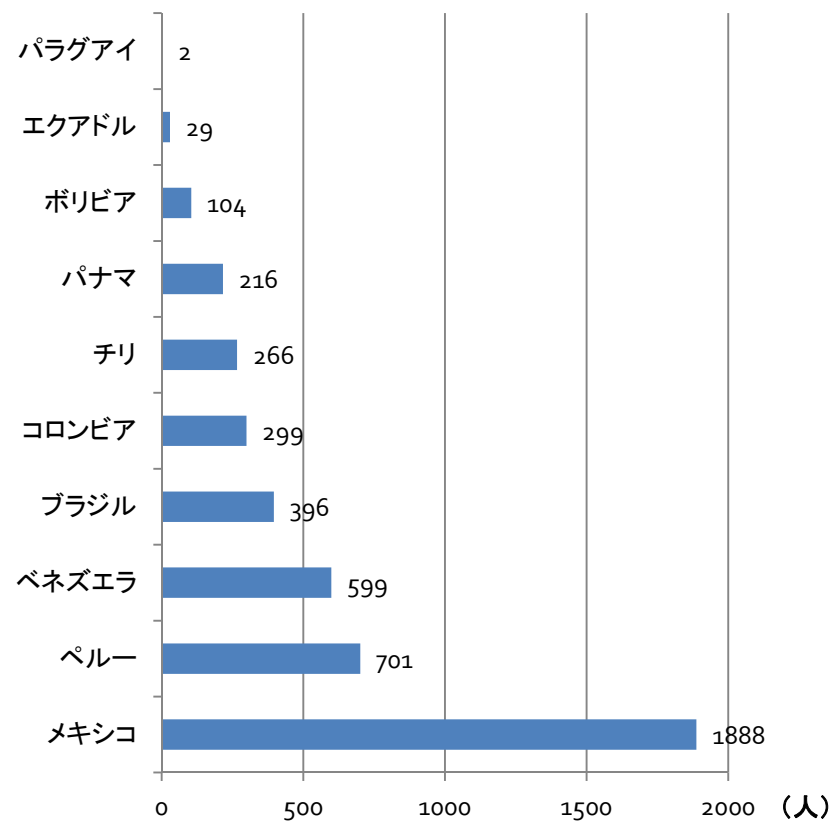
良好な生活環境（治安）

家宅侵入率(未遂を含む)

(単位: %)



誘拐率(10万人中)



出典：国連薬物犯罪事務所（各国の最新のデータを引用）

パラグアイの優位性 (メルコスールの大市場に近接)

- 南米南部共同市場（メルコスール）の巨大市場
(サンパウロ、ブエノスアイレス等) と近接

●メルコスールの市場規模

域内人口：2億9千万人

域内GDP合計：約3.4兆ドル

(出典：2012年IMF)

●アスンシオン

⇔サンパウロ、

⇔ブエノスアイレス

距離は、両都市とも陸路で
1,300～1,400km

⇔ブエノスアイレスは河川経由

注：メルコスール加盟国：

アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ



パラグアイの投資環境（その他）

- 近年、製造業等の進出が続いている。（2016年現在、15社）
 - 常石グループ（造船、農業・牧畜、河川輸送、自動車、地域開発等）
 - 株式会社フジクラ（自動車部品（ワイヤーハーネス）製造）
 - 矢崎総業株式会社（〃〃）
 - 住友電装株式会社（〃〃）
 - 内山工業株式会社（自動車部品（エンジン用ガスケットなど）販売）
- 等

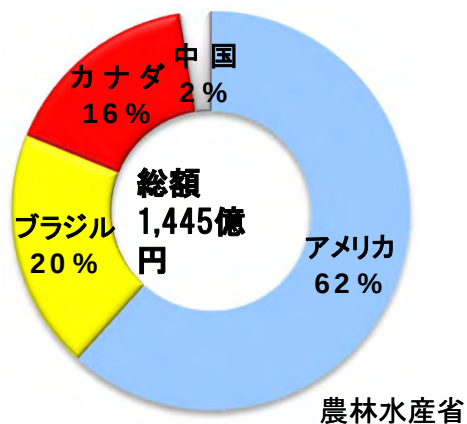


日本と中南米地域のつながり

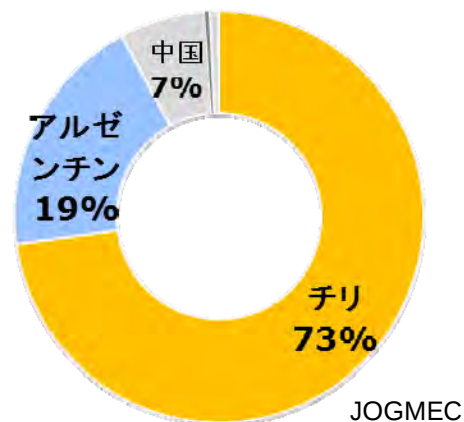
★中南米は資源・食料外交の最前線

- 日本が輸入するリチウム原料の93%、銅鉱の65.8%、鉄鉱石の29.9%
- 食料輸入のうち、鶏肉は90%以上（※自給率66%）、大豆は20%（※自給率7%、食用品に限ると約20%）
- 大豆、牛肉、鶏肉、砂糖、オレンジ等の主要生産国となっている。
- カーネーションの輸入のうち、6割がコロンビア産（※輸入は需要量の約半分）

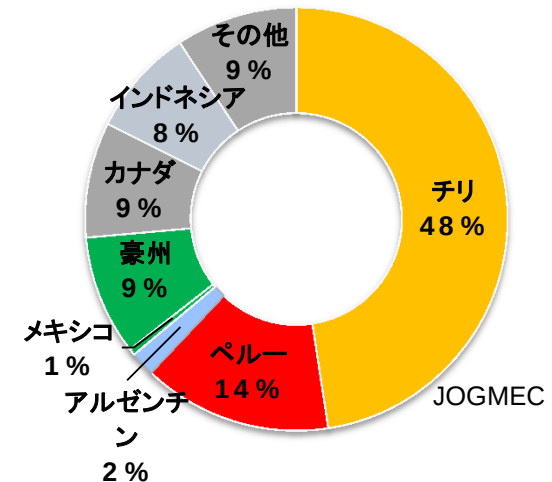
H24大豆国別輸入状況



H23炭酸リチウム輸入状況



H23銅鉱輸入状況



～パラグアイ農業のポテンシャルと 日本人移住者のパラグアイ農業への貢献～

●大豆の栽培技術（不耕起栽培等）は日系移住者が導入。パラグアイの大豆輸出量は世界4位。

●パラグアイは、日本の主要な食用ゴマ輸入先（平成28年、重量ベース14.9%）。パラグアイゴマビジネスのパイオニアは日本人。

●日本人移住者を見習い、野菜を生産、食する習慣がパラグアイに定着。日本人最初の移住地ラ・コルメナは現在ではフルーツの町として有名。

●土地に向き合う日本人移住者の勤勉さや誠実さが評価され、パラグアイは世界でも極めて親日的な国の一つ。



パラグアイ農業総合試験場(CETAPAR)

- 背景: JICA直営移住地において日系移住者の営農技術を支援する目的で設置(1985年にイグアス移住地にCETAPARとして改組)。2010年まではJICAの直営試験場として機能、現在は日系農協及びパラグアイの生産者組合連合体であるFECOPROD、農協連合体であるUNICOOPによる共同運営。
- 主業務: ①優良種子生産・(公的認証の上)販売業務、②土壌・植物体等の分析業務、③デュアルシステム(理論と企業における研修で構成)を活用した農業技師の育成、④圃場試験、⑤試験研究、⑥地域社会貢献活動
- その他: 帯広畜産大学がパラグアイオフィスを構内に設置(2016年12月～)、農牧関連企業の団体が、試験圃場を活用し、展示会を実施(2017年3月)。



パラグアイ農牧総合試験場（CETAPAR）



広大な試験圃場、農業研究施設



高度な研究技術（**新品種開発、優良種子国家認証**
取得・販売、土壌・肥料・農薬・種子分析等）



日系農協の参画、日系人スタッフ、日本語対応



民間企業連携、農業EXPOの開催等

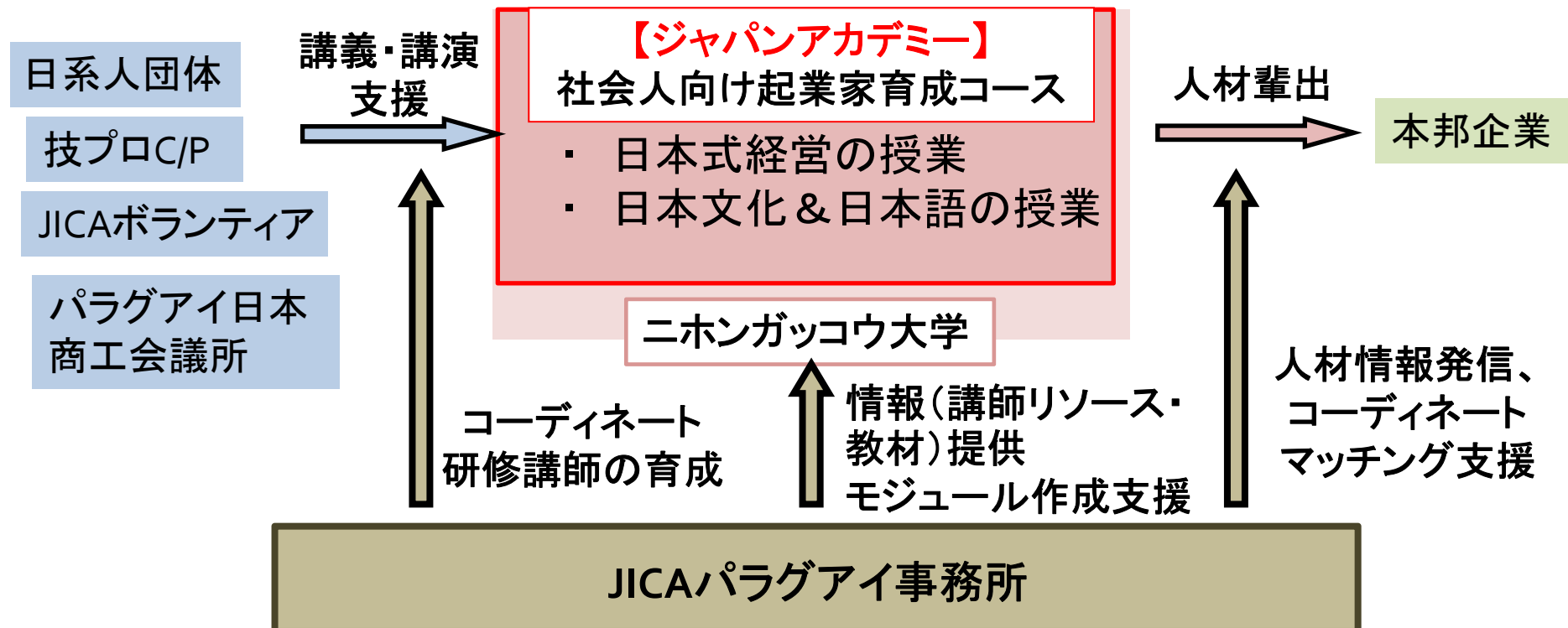
～ジャパン・アカデミー～

背景: 日本企業増加 ⇒ 邦人企業のパートナー足り得る人材・企業の育成が肝要

構想: ニホンガッコウ大学と連携し、日本の経営手法、商習慣、文化、日本語等が学べる「社会人向け日本式起業家育成コース」を2017年に開設。卒業生を知日・親日的起業家として日本企業に紹介予定。

パラグアイ・日系社会へのメリット: 雇用創出・経済成長、貧困削減、日本企業就職、日本企業のパートナーとしてビジネス機会の拡大

日本社会へのメリット: 日本企業の海外展開促進



「南米地域におけるフードバリューチェーン構築 に向けた産学官連携の可能性」



日本企業・大学の
海外展開支援

日本及び世界の
食料安全保障

(日系社会との連携も視野に置いた)
南米地域におけるフードバリューチェーン構築

パラグアイの
経済開発

生産拠点としてのパラグアイの魅力

メルコースール市場(日本食材市場)

良好な投資
制度環境

日系社会・農協
ビジネスパートナー

豊富・肥沃な農地
競争力の高い原料

農業試験場
(CETAPAR)



「南米地域におけるフードバリューチェーン構築 に向けた産学官連携の可能性 ～JICAの今後の取組み(案)～」

＜パラグアイ関係者とのビジネス対話促進＞

- ・パラグアイ投資環境等に関する情報発信
- ・パラグアイ関係者とのビジネス対話機会支援

＜日本企業の海外展開支援＞

- ・開発投融資、個別専門家派遣(食農分野投資促進)、民間連携ボランティア派遣、留学生事業、課題別研修、日系研修
- ・日本企業とJBIC、JETRO等関係機関等へのアクセス支援

＜日本の大学の海外展開支援＞

- ・大学連携ボランティア、草の根技術協力、SATREPS、日系研修(日系次世代育成)
- ・大学が有する海外展開プログラム等との連携支援

本件にご関心ある企業は、

JICA農村開発部第3チーム

課長 伊藤圭介

メール宛先 [Ito.Keisukeアットマークjica.go.jp](mailto:Ito.Keisuke@jica.go.jp)

(cc [Takasago.Hajimeアットマークjica.go.jp](mailto:Takasago.Hajime@jica.go.jp))

まで、ご連絡をお願いします。

参考情報

- パラグアイ事務所ホームページ

<https://www.jica.go.jp/paraguay/index.html>

- パラグアイ農業総合試験場 (CETAPAR)

<https://www.jica.go.jp/paraguay/office/activities/result/ku57pq00002kxpoa-att/cetapar.pdf>

http://open_jicareport.jica.go.jp/807/807/807_708_12019931.html

- パラグアイ共和国「チャンスに満ちた国」

<http://www.embapar.jp/wp/wp-content/uploads/2017/10/Land-of-Opportunities-2017.pdf>



ご清聴ありがとうございました！

